遠足の楽しかった思い出

5月28日に遠足を実施しました。

1年生は、群馬県の「赤城高原クローネンベルク・ドイツ村」へバスで行きました。お昼にはおいしいバーベキューを食べました。芝ソリ遊びやボートを漕いで、クラスの親睦を深めることができました。

クラスごとにバーベキューを楽しみました

2年生は、羽田空港に集合し、東京都内で班別行動しました。秋に修学旅行で沖縄へ行く集合場所を確認しました。集合・点呼後は、お台場、浅草、御徒町（アメ横）や渋谷などへ行きました。クラスの親睦を深め、集団行動を通して協調性を養いました。

東京は2020年に開催されるオリンピックの空気が感じられ、上野公園から遠くの東京スカイツリーへカメラを向けている生徒もいました。

羽田に集合して都心方面へ向かいます

3年生は、班ごとに分かれて東京ディズニーランドか、シーに行きました。生徒たちは、舞浜駅に着くやいなや、「先生！集合場所はどこ！？」と目をきらきら輝かせながら、入場を今かと待っていました。

シンデレラ城のプロジェクション・マッピングも始まり、アトラクションやショーから目が離せませんでした。これから就職や進学に向けた進路選択が本格的に始まる3年生にとっては、高校生活のすばらしい思い出ができました。

当日の服装も揃えてみました

就職・進学いざ出陣！

5月27日に、卒業アルバム用の集合写真を撮影しました。まるで就職・進学の出陣式のようです。6月には三者面談も行なわれました。HR担任と保護者を交えての面談は、とても緊張するものです。中間考査の結果を踏まえて、生活全般について話し合いました。

「満月もち」の田植えをしました

「キャーキャー」と大きな声が響いていました

6月13日、梅雨の合間の晴れを縫うように、もち米の田植えを行いました。

裸足で田んぼに入った生徒は、生ぬるい泥の感覚に慣れず、潜った足を引き上げるのに苦労していました。

紐を張り、真っ直ぐになるように植えています。指の第一関節くらいまで根を挿すのにはコツが必要です。植えた苗が浮いてきては困ります。先生の指示にも気合いが入っていました。

体験入学・学校説明会の日程決まる

平成26年度に行われる中学生向けの行事を開催する日が決まりました。2学期当初までに行われる日は次のとおりです。

8月2日（土）
第1回体験入学（体験授業・施設見学）
10時～12時
申込締切　7月25日（金）

9月13日（土）
第1回学校説明会
（学校説明・体験講座・施設見学・入試相談）
10時～12時
申込締切　9月5日（金）

申込みは、本校ホームページから個人でもできます。また、中学校ごとの申込みも行っています。体験講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

【編集後記】夏の全国大会に出場する生徒へのインタビューも取り入れることができました。体験入学への参加をお待ちしています。

羽実だより

埼玉県立羽生実業高等学校
平成二十六年七月十日発行
第１０２号

全国大会出場生徒のインタビュー特集

「全国高等学校陸上競技選抜大会」
陸上競技部　女子ハンマー投　出場

阿部　千明さん　商業科3年・羽生東中

Q．陸上を始めたきっかけは？

A．中学入学時に陸上部に入りました。砲丸投で県大会に出場しましたが、正直、当時は投擲（てき）があまり好きではありませんでした。本当は、走幅跳がやりたかったのが入部の理由でした。

Q．高校ではなぜハンマー投に？

A．私は陸上がやりたくて羽実を選びました。入学当初から顧問の先生に期待されているのが励みになりました。体の使い方が、砲丸よりもハンマーの方が自分に合っていたので、ハンマーをすることになりました。

Q．顧問との出会いで変わったことは？

A．自分のことを知ることができました。賛田先生の話を理解して、素直な気持ちで練習することで、技術を高められました。先生は、自分よりも自分のことを知っていると、思ったこともありました。

Q．部長としてどんな経験をしましたか？

A．部員をまとめることがまだまだで、自分には向いていないのかもしれません。でも、顧問の先生の指導を受けたい気持ちは、誰よりも強いと思います。後輩たちも全国大会に行けるように、自分の経験を伝えていきたいです。

Q．全国大会の出場が決まったときは？

A．3年間の夢がやっと実現できて、よかったと思いました。46mというジュニア記録を超えられるよう練習して、ランキングを上げたいです。

Q．家族とはどんな話を？

A．県大会の朝、父が運転する車の中で、父が陸上の話をいろいろと聞いてくれたことが心の支えになりました。家族の応援に感謝しています。家に帰って結果を伝えると、父から握手を求められました。

Q．将来の夢は何？

A．年齢を重ねても陸上競技との出会いを大切にして、シニア部門での大会にも出場したいです。自分がするだけでなく、スポーツを楽しみながら支えていきたいです。

Q．中学生に伝えたいことは？

A．最後まで諦めないで努力すること、目標をつくって毎日の練習に取り組むことです。やれると思えば必ずできます。自分の好きなことを頑張ってほしいです。

・・・・・・・・・・・・・・・

これまでの自己ベスト37m70を大きく更新し、県大会は38m52を記録しました。埼玉県の木であるケヤキのように大きく回し、力強い捻りで最高のパフォーマンスを出してください（写真は校内の欅の前で撮影しました）。8月に大阪で開催される全国大会での活躍を全校をあげて応援しています。

南関東総体２０１４（インターハイ）
ウエイトリフティング部　出場

尾澤　仁君　農業経済科1年・加須東中

Q．ウエイトをはじめたきっかけは？

A．中学ではサッカー部でしたが、2年の頃からウエイトリフティングに興味を持ち、家族の応援もあって、パワーリフティングのジムに通い始めました。

Q．羽実に入学した理由は？

A．2人の兄が羽実に入学していたこともあり、自分も羽実に入学する気持ちは決まっていました。サッカーも考えましたが、顧問である黒川光行先生の勧めもあり、入部することになりました。入学当初に先生は、「君たち全員をインターハイに連れて行きたい！」と熱い思いを語ってくれたことが、部員のやる気に火をつけることになりました。今は毎日練習できるのがとても楽しいです。

Q．全国大会に出場する気持ちは？

A．関東大会で全国への出場が決まったとき、5人の仲間が「おめでとう！」と声をかけてくれて、一緒に喜んでくれました。とても嬉しかったです。応援してくれていた父も、自分のことを褒めてくれました。

Q．日々どんな練習をしている？

A．練習は、1日2時間以上していて、体格の変化が日々分かるようになっています。顧問の親切な指導に、部員のモチベーションも高まります。

Q．将来の夢は？

A．尊敬する父と同じ理容師になることです。部活動と勉強の両立させて、父と同じ職業に就き、ウエイトの道も極めていきます。

・・・・・・・・・・・・・・・

1年生でのインターハイ出場は最高のチャンスです。現在ジャークの自己ベストは83キロで、競技と向き合う強い気持ちを感じました。全国での上位と、飛躍できる高校3年間を期待しています。